

錠剤・カプセル状の健康食品の品質等に関する実態調査

Q：錠剤やカプセルの健康食品を医薬品と思っている人もいます。

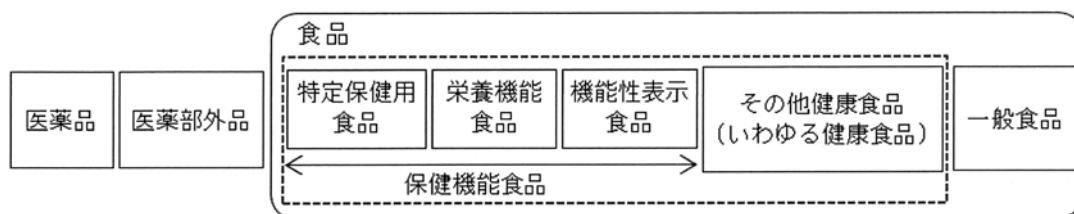
A：消費者へのアンケートによると、多くの人が錠剤やカプセル状の健康食品も医薬品と同様に厳格に製造され品質管理されているというイメージを持っていることがわかりました。しかし健康食品では必ずしも医薬品と同等の品質が保たれているとは限りません。

全国の消費者を対象として、錠剤・カプセル状の健康食品の利用実態等に関するアンケート調査結果が独立行政法人国民生活センターより公表されました。

この消費者へのアンケート調査の結果、錠剤・カプセル状の健康食品と医薬品等との区別があいまいな人や、病気等の治療・緩和のために飲んでいるという人がいることがわかりました。また多くの人が錠剤・カプセル状の健康食品に対し、厳格に製造され、品質が安定しているというイメージを持っていることが明らかになりました。しかしながら錠剤・カプセル状の健康食品では必ずしも医薬品と同様の品質が保たれているとは限らないため、医薬品との品質や制度の違いを正しく理解してもらう必要があると思われます。

アンケートの対象

本調査の対象とした錠剤・カプセル状の健康食品は保健機能食品とその他健康食品を含むものです。(下図点線で囲ったもの)



テスト実施期間

検体購入：2018年12月～2019年1月

テスト及び調査期間：2018年7月～2019年6月

消費者へのアンケート調査

「過去1年以内に錠剤またはカプセル状の健康食品を摂取している人」を対象に、インターネットによるアンケートを実施しました。全国の20歳から78歳(平均年齢：44.7歳)までの男女10,168人(男性：5,137人、女性：5,031人)から有効回答が得られました。

(1) 健康食品に期待していること

直近1年以内で飲んでいる(飲んでいた)錠剤・カプセル状の健康食品について、どのような機能をうたう商品かを聞いたところ、6,687人(65.8%)が「足りていない栄養素(ビタミン類、ミネラル類)の補給」と回答しました(図1参照)。また、「体力、持続力の維持・向上(疲れやすさの

改善)」(3,255人、32.0%)、「美容、デトックス、エイジングケア(抗加齢)、老化予防・防止」(3,249人、32.0%)がそれに続きました。

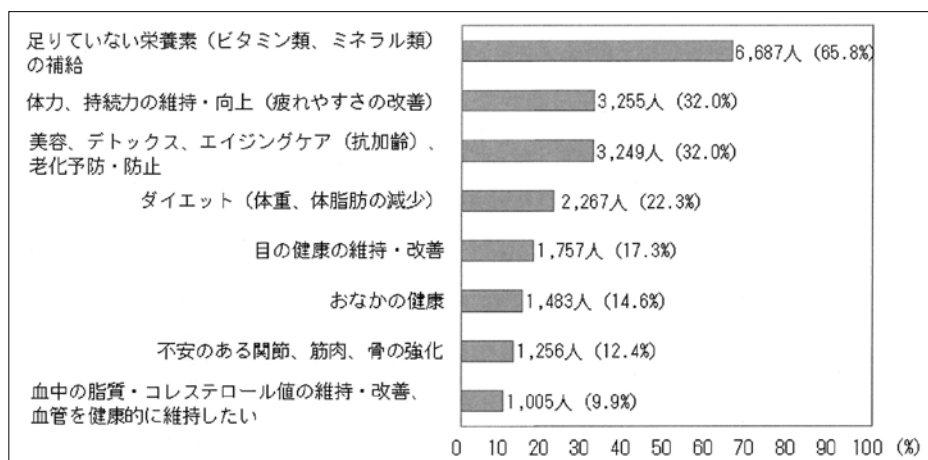


図1. 直近1年以内で飲んでいる(飲んでいた)健康食品にうたわれている機能 (n=10,168、複数選択可、上位8つを抜粋)

直近1年以内で最も飲む頻度の高い(高かった)錠剤・カプセル状の健康食品について、飲んでいる目的を聞いたところ、2,512人(24.7%)は、「栄養補給のため」と回答しました(図2参照)。一方、789人(7.8%)が「病院で治療していない諸症状を改善するため」、638人(6.3%)が「病院で治療中の諸症状を改善するため」、609人(6.0%)が「視力、聴力などの感覚機能、認知機能の改善のため」と回答し、合わせると約20%が病気の治療・緩和のために飲んでいると考えられました。

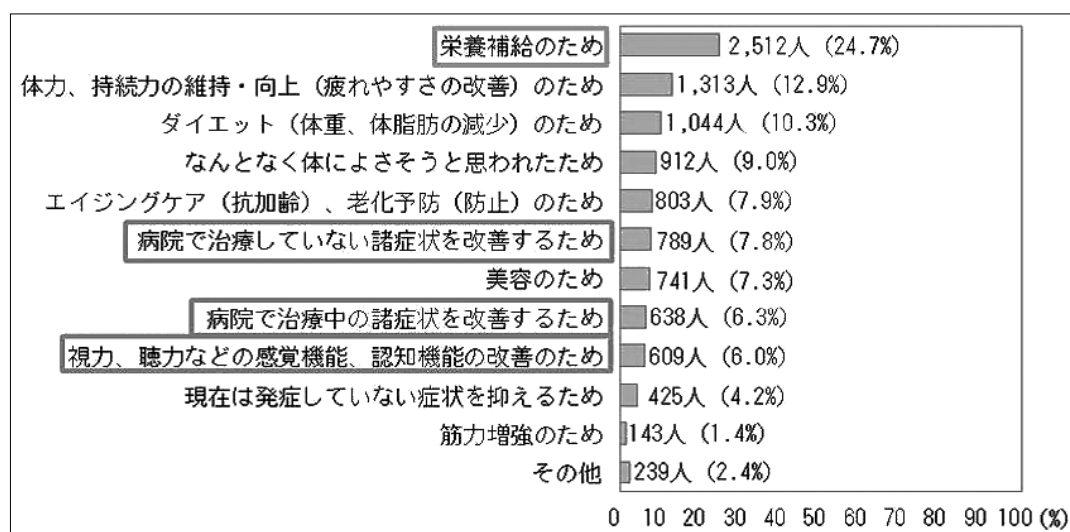


図2. 直近1年以内で最も飲む頻度の高い(高かった)健康食品の摂取理由 (n=10,168)

直近1年以内で最も飲む頻度の高い(高かった)錠剤・カプセル状の健康食品の販売者名と商品名を自由記述式で聞いたところ(n=10,168)、856人(8.4%)は医薬品等を健康食品として回答し、医薬品等と健康食品の区別があいまいであると思われました。

(2) 健康食品を利用する際に重視していること

利用する際に、パッケージや説明書で栄養成分表示を確認すると回答した人が約60%いました。利用する際に、パッケージや説明書で確認することを聞いたところ、6,092人(59.9%)が「栄養成分表示」、続いて4,850人(47.7%)が「原材料」と回答しました(図3参照)。一方、「保存上の

注意」(1,473人、14.5%)や「飲まないほうが良い状態に関する情報」(1,388人、13.7%)を確認するとの回答はそれぞれ15%以下でした。

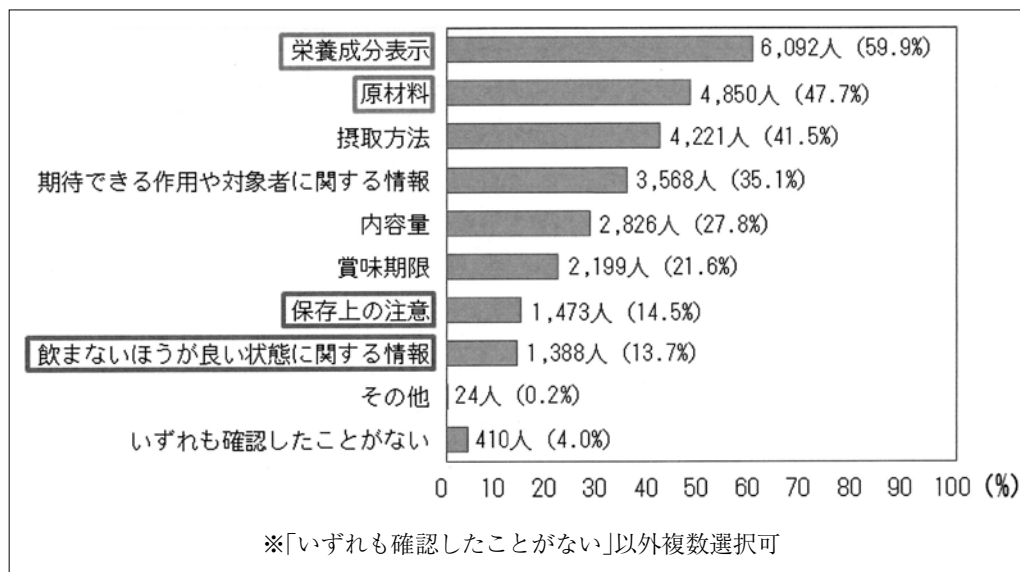


図3. 利用する際にパッケージや説明書で確認すること (n=10,168)

(3) 品質に関するイメージ

錠剤・カプセル状の健康食品に対して、厳格に製造され、品質が安定していると回答した人が74%いました。

錠剤・カプセル状の健康食品に対するイメージを聞いたところ、「厳格に製造され、品質が安定している」という項目に、7,523人(74.0%)が「大変そう思う」または「そう思う」と回答しました(図4参照)。

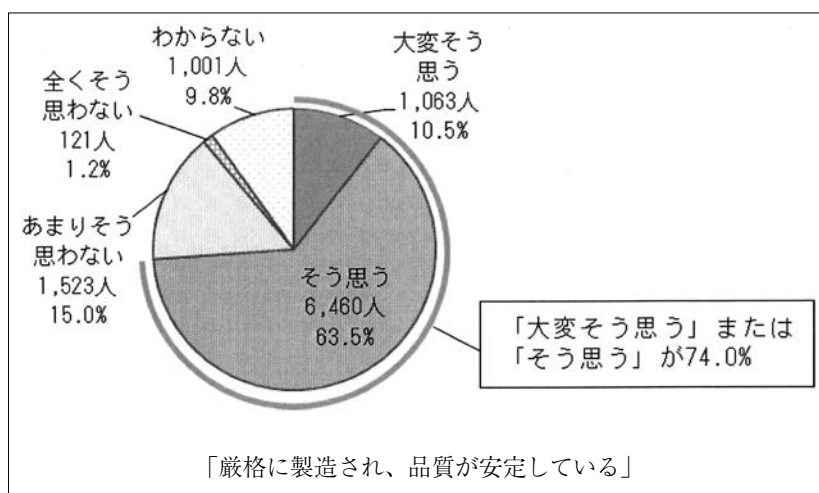


図4. 錠剤・カプセル状の健康食品に対するイメージ (n=10,168)

また錠剤・カプセル状の健康食品に対して、「どの商品が自分に合っているのか、必要なのがよくわからない」という項目に、5,830人(57.4%)が「大変そう思う」または「そう思う」と回答しました(図5参照)。このことから、消費者は、自己判断で錠剤・カプセル状の健康食品を購入する際に、迷いながら商品を選択し、利用していると考えられました。

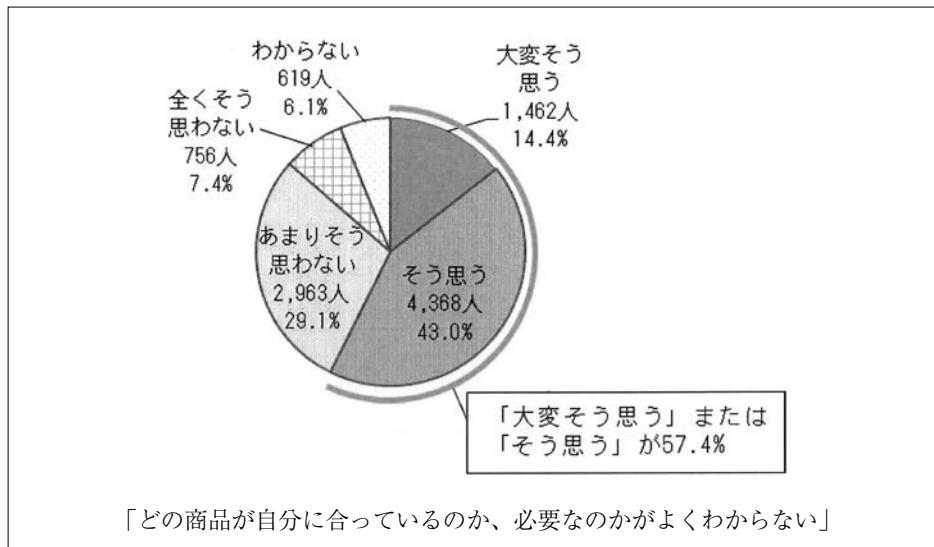


図5. 錠剤・カプセル状の健康食品に対するイメージ (n=10,168)

(4) 品質に関する実態

開封時や利用中に何らかの品質の異常があったと回答した人がそれぞれ約9%いました。910人(8.9%)は開封時に、995人(9.8%)は利用中に、何らかの品質の異常があったと回答しました(図6参照)。開封時の異常は、「割れ、欠け」が最も多く(380人、3.7%)、「変質」(295人、2.9%)、「異物付着、異物混入」(184人、1.8%)が続きました。利用中の異常は、「変質」が最も多く(648人、6.4%)、「割れ、欠け」(317人、3.1%)、「異臭」(105人、1.0%)が続きました。

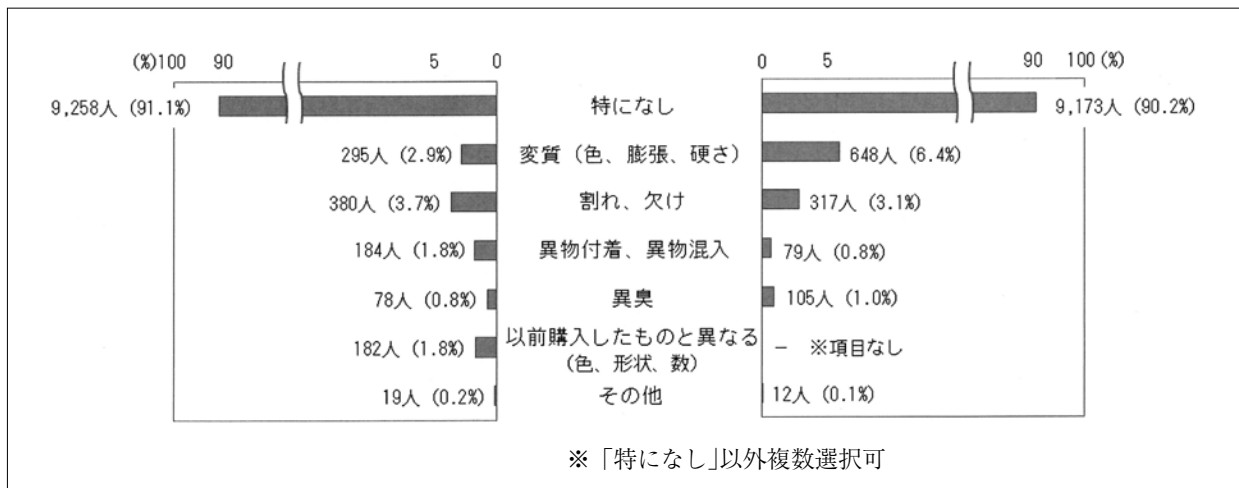


図6. 開封時(左)、利用中(右)の品質異常の有無とその内容 (n=10,168)

【 参考文献 】

- 1) 錠剤・カプセル状の健康食品の品質等に関する実態調査、国民生活センター、2019年8月1日